環境経営レポート

2023年度

（対象期間：2023年1月～2023年12月）

小城公園の桜

発行日：2024年 3 月31日

服巻建設 株式会社

目　次

１．組織の概要 …… p.1

２．認証・登録の対象範囲 …… p.1

３．環境経営方針 …… p.2

４．実施体制 …… p.3

５．環境経営目標（1）2023年 …… p.4
〃　（2）2024年 …… p.5

６．環境経営計画 …… p.6

７．環境経営目標の実績 …… p.7

８．環境経営計画の取組結果と
その評価、並びに次年度の計画内容 …… p.8

９．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価
の結果並びに違反、訴訟等の有無 …… p.9

１０．代表者による全体評価と見直しの結果 …… p.10

※ 活動の取組

①　弊社の太陽光発電について …… p.11

②　弊社のSDGsについての取組 …… p.12

1. 組織の概要

1）事業所名　　服巻建設 株式会社
　代表者氏名　　代表取締役　松尾　裕之

2）所在地　　本　社　　〒845-0002　佐賀県小城市小城町畑田 988番地1

3）環境管理責任者　常務取締役　　中村　茂美
　担当者　　総務部　　笠原　明子
　連絡先　　TEL0952-71-1005　　FAX　0952-72-1799
　　Eメールアドレス　　haramaki@mx81.tiki.ne.jp

4）事業の内容　　建築工事業、土木工事業、とび・土工工事業、解体工事業

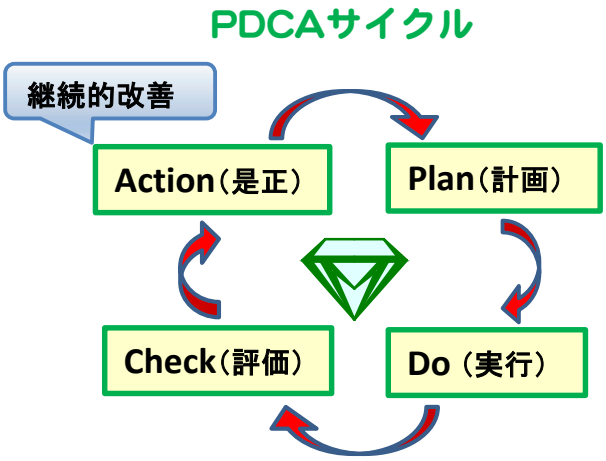
5）許可番号　　佐賀県知事許可　特-2　第9421号

6）事業の規模　　＊資本金　　4千万円
　　＊従業員数　　8人（2021年12月現在）
　　＊売上高　　258百万円
　　＊延床面積　　196㎡
　　＊法人設立　　平成11年7月30日

7）事業年度　　2023年1月～12月

2. 認証・登録の対象範囲

下記の全組織及び全活動
　1）対象事業所　　本社
　2）事業活動　　上記の事業内容



環　境　経　営　方　針

服巻建設 株式会社 は、天山水景の麓に位置し、小城清水の清流豊かな環境の中で建設工事を通じて、この環境の保全と汚染の予防に努めることを全社員が自覚し『環境にやさしい社会づくり』に取り組みます。

1. 次の重点事項に取り組みます。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

(2) 建設にともなう産業廃棄物及び事業系一般廃棄物の排出量削減

(3) 水使用量の削減

(4) 資材、事務用品等のグリーン購入推進

(5) 本業における環境貢献の推進

(6) 環境経営システムの継続的改善を実施します。

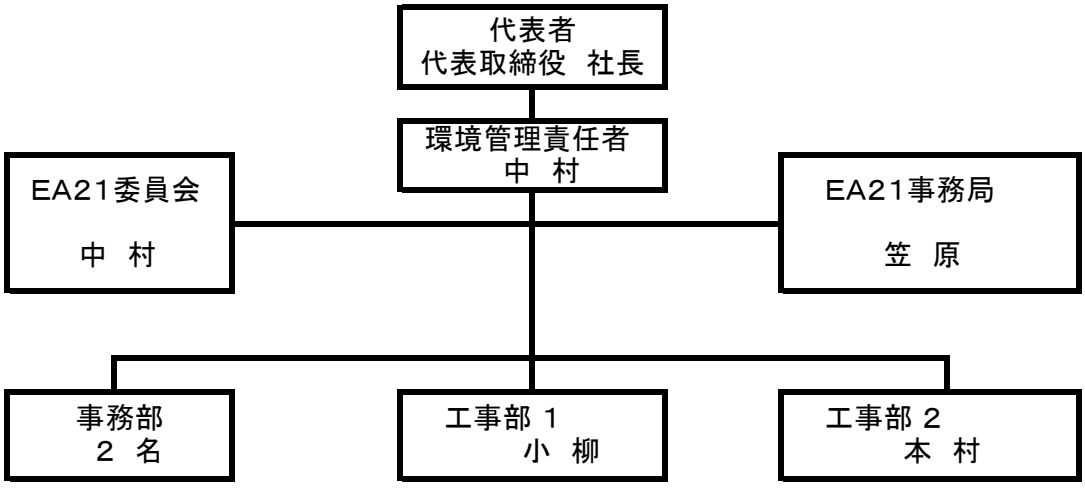
2. 関係する環境関連法規等を遵守します。

エコアクション21
認証番号0012431

改定日　令和　2年　6月　1日

服巻建設 株式会社
代表取締役　　松尾　裕之

4. 実施体制



役割分担表

所　属	役割・責任・権限
代表者	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する ・環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、 実行し、環境実績を向上させる。 ・毎年、環境目標、環境活動計画を作成する。 ・3か月に1回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況を確認・評価する。 ・上記の結果を代表者に報告する。
EA21委員会	・毎月全体会議にて開催し、環境目標及び環境活動計画の実施状況を審議する。
EA21事務局	・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	・環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ・環境目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する 自部門に関連する法規制等を順守する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

5. 環境経営目標　（2023年度）

環　境　目　標	単位	基準年 2021年度	年度			
			2022年度 (1%削減)	2023年度 (2%削減)	2024年度 (2%削減)	2025年度 (2%削減)
		2021年 1月～12月	2022年 1月～12月	2023年 1月～12月	2024年 1月～12月	2025年 1月～12月
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO_2	10,738	10,630	10,523	10,523	10,523
(1)電気使用量削減	全社計	13,005	12,875	12,745	12,745	12,745
事務所　電灯	kWh	4,510	4,465	4,420	4,420	4,420
事務所　動力	kWh	7,334	7,261	7,187	7,187	7,187
現場	kWh	1,161	1,149	1,138	1,138	1,138
(2)ガソリン使用量削減	全社計	2,210	2,188	2,166	2,166	2,166
事務所	ℓ	515	510	505	505	505
現場	ℓ	1,695	1,678	1,661	1,661	1,661
(3)軽油使用量削減						
現場	ℓ	214	212	210	210	210
2. 廃棄物排出量の削減						
一般廃棄物排出量の削減	kg	264	261	259	259	259
産業廃棄物ﾘｻｲｸﾙ率の向上	%	100	100	100	100	100
3. 水使用量の削減	全社計	60	60	58	58	58
事務所	m^3	32	32	31	31	31
現場	m^3	28	28	27	27	27
4. グリーン購入の推進	－	購入を推進	購入を推進	購入を推進	購入を推進	購入を推進
5. 省資源・省エネ型設計・施工の提案	－	施工時に提案	施工時に提案	施工時に提案	施工時に提案	施工時に提案

1.購入電力の二酸化炭素後排出係数は、0.389kg-CO_2／kWh（2021年度九州電力調整後）を使用しています。
2.目標年度の()は基準年に対する削減率を示す。

5. 環境経営目標　（2024年度）

環　境　目　標	単位	基準年 2021年度	年度			
			2022年度 (1%削減)	2023年度 (2%削減)	2024年度 (2%削減)	2025年度 (2%削減)
		2021年 1月～12月	2022年 1月～12月	2023年 1月～12月	2024年 1月～12月	2025年 1月～12月
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO_2	10,738	10,630	10,523	10,523	10,523
(1)電気使用量削減	全社計	13,005	12,875	12,745	12,745	12,745
事務所　電灯	kWh	4,510	4,465	4,420	4,420	4,420
事務所　動力	kWh	7,334	7,261	7,187	7,187	7,187
現場	kWh	1,161	1,149	1,138	1,138	1,138
(2)ガソリン使用量削減	全社計	2,210	2,188	2,166	2,166	2,166
事務所	ℓ	515	510	505	505	505
現場	ℓ	1,695	1,678	1,661	1,661	1,661
(3)軽油使用量削減						
現場	ℓ	214	212	210	210	210
2. 廃棄物排出量の削減						
一般廃棄物排出量の削減	kg	264	261	259	259	259
産業廃棄物リサイクル率の向上	%	100	100	100	100	100
3. 水使用量の削減	全社計	60	60	58	58	58
事務所	m^3	32	32	31	31	31
現場	m^3	28	28	27	27	27
4. グリーン購入の推進	－	購入を推進	購入を推進	購入を推進	購入を推進	購入を推進
5. 省資源・省エネ型設計・施工の提案	－	施工時に提案	施工時に提案	施工時に提案	施工時に提案	施工時に提案

1.購入電力の二酸化炭素後排出係数は、0.389kg-CO_2／kWh（2021年度九州電力調整後）を使用しています。
2.目標年度の()は基準年に対する削減率を示す。

６．環境経営計画　活動期間（2023年度）（2023年1月～12月迄）

責任者：　環境管理責任者

取　組　目　標	サイト区分	活　動　項　目	担当者	スケジュール
１．二酸化炭素排出量の削減				
(1)電気使用量削減	事務所 現場	・使用していないパソコンの電源を切る	事務所	年間を通して
		・昼休み時間の消灯	（事務局）	〃
		・照明器具、空調機フィルター清掃	現場	〃
		・夜間、休日はパソコンの主電源を切る	（工事担当）	〃
(2)ガソリン使用量削減	事務所 現場	・急発進、急加速、急減速の禁止	事務所	〃
		・不要な荷物は積まない	（事務局）	〃
		・空気圧の適正確認	現場	〃
			（工事担当）	〃
(3)軽油使用量削減	現場	・急発進、急加速、急減速の禁止		〃
		・不要な荷物は積まない	現場	〃
		・定期点検の実施	（工事担当）	〃
				〃
２．廃棄物排出量の削減				
一般廃棄物排出量の削減	事務所	・分別によるリサイクルの推進（用紙類はシュレッダー処理）	（事務局）	年間を通して
		・コピー用紙裏紙の利用		〃
産業廃棄物リサイクル率の向上	現場	・転用可能な資材の活用の推進	（工事担当）	〃
		・中間処理施設の利用徹底		〃
３．水使用量の削減				
	事務所 現場	・節水ラベルの貼付	事務所	年間を通して
		・節水の呼びかけ	（事務局）	〃
		・5割開栓を心掛ける	現場	
			（工事担当）	〃
４．グリーン購入の推進	全社	事務所・現場共　グリーン購入を推進		
５．省資源・省エネ型設計・施工の提案	現場	省資源型設計・施工を行う。又、提案していく		

7. 環境経営目標の実績

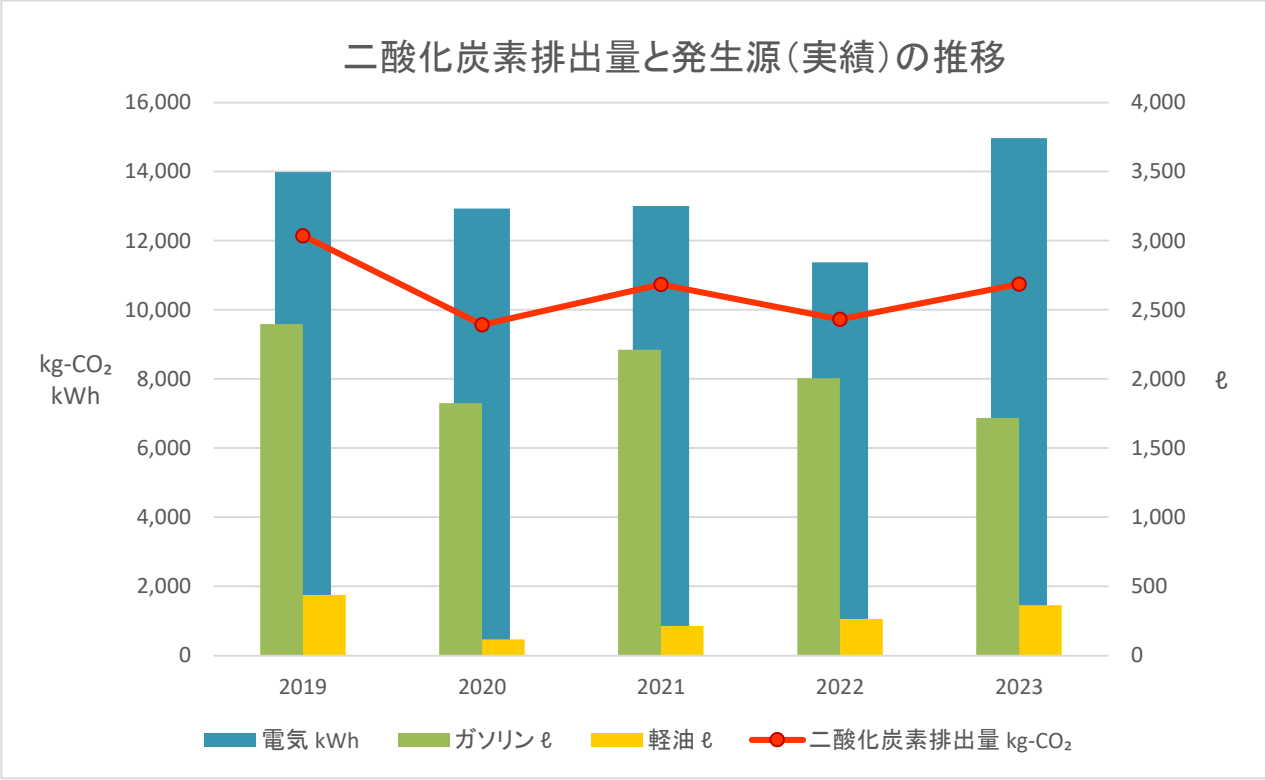
活動期間（2023年1月～12月）

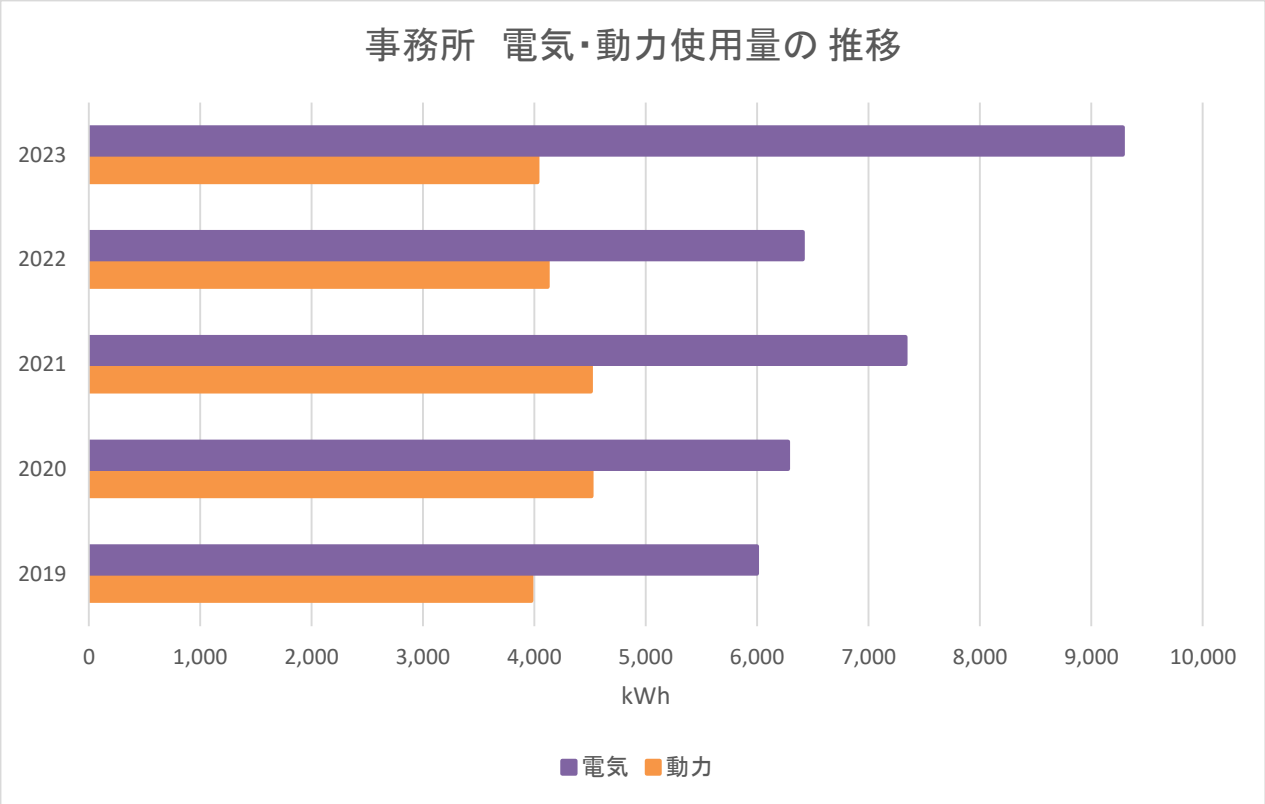
環境目標	単位	基準年（2021年度）	2023年1月～12月 目標	実績	達成率	評価	結果の評価
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO_2	10,738	10,523	10,746	98%	△	今年度より、事務所動力が個人のコンテナ据付使用により増加しているが、事務所電気使用量は目標達成している。
(1)電気使用量削減	全社	13,005	12,745	14,962	85%	△	
事務所　電灯	kWh	4,510	4,420	4,028	110%	○	
事務所　動力	kWh	7,334	7,187	9,286	77%	×	
現場	kWh	1,161	1,138	1,648	69%	×	
(2)ガソリン使用量削減	全社	2,210	2,144	1,719	125%	○	使用量は現場状況により増減がかかわっている。
事務所	ℓ	515	500	716	70%	×	
現場	ℓ	1,695	1,644	1,003	164%	○	
(3)軽油使用量削減							
現場	ℓ	214	208	363	57%	×	現場事務所が無かった為、稼働率が上がっている。
2. 廃棄物排出量の削減	kg						今年度はコピー紙のリサイクルも増えて、雑誌・段ボールも100%リサイクル出来ている。
一般廃棄物排出量の削減	kg	264	256	284	90%	△	
産業廃棄物リサイクル率の向上	%	100	100	81	81%	△	
3. 水使用量の削減	全社	60	58	83	70%	×	今年度より、事務所水使用量が個人のコンテナ据付使用により増加している。
事務所	m^3	32	31	67	46%	×	
現場	m^3	28	27	16	169%	○	
4. グリーン購入の推進	%	グリーン購入を推進				○	
5. 省資源・省エネ型設計・施工の提案	件	省資源型設計・施工を提案				○	

※ 目標達成率は、削減目標÷取組実績＝達成率としている。

※ 評価の基準は、目標率100%以上の場合は○[達成]、100%未満～80%以上の場合は△[ほぼ達成]
80%未満以下の場合は×[未達成]としている。

※二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は九州電力　2021年度の二酸化炭素調整後排出係数
（ 0.389kg-CO_2／kWh） を使用しています。


二酸化炭素排出量と発生源（実績）の推移
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
kg-CO₂
kWh
4,000
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
ℓ
2019
2020
2021
2022
2023
電気 kWh
ガソリン ℓ
軽油 ℓ
二酸化炭素排出量 kg-CO₂


事務所　電気・動力使用量の 推移
2023
2022
2021
2020
2019
0
1,000
2,000
3,000
4,000
5,000
6,000
7,000
8,000
9,000
10,000
kWh
電気
動力

8.　環境経営計画の取組結果とその評価並びに次年度の計画内容

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目		実施状況 1月～12月	1年間の評価	次年度の計画
電気使用量削減	こまめな消灯	○	・概ね実施出来ている。 ・今年度の４月から、空き敷地利用にて個人様コンテナハウス設置により動力の使用量が増加しているが、当社では二酸化炭素の排出量の削減は意識して行われている。	・こまめな消灯 ・エアコンの適温調整 ・エアコンの定期清掃 ・今後もガソリン、軽油使用量削減を意識していく。 ・夏季における空調の節電
	エアコンの適温調整	×		
	照明器具、空調機の定期清掃	○		
	夜間、休日はパソコンの主電源を切る	○		
ガソリン使用量削減	急発進、急加速等の禁止	○		
	不要な荷物は積まない	○		
	空気圧の適正確認	○		
軽油使用量削減	急発進、急加速等の禁止	○		
	不要な荷物は積まない	○		
	定期点検の実施	○		

2. 廃棄物排出量削減

活動項目		実施状況 1月～12月	1年間の評価	次年度の計画
一般廃棄物	分別によるリサイクルの推進	○	・コピー紙のリサイクルも出来る様になった。 ・分別によるリサイクルの推進。 ・ゴミの持ち帰り等で排出量の削減を計った。	・今後も社内ランを活用し、無駄な用紙の使用しない。 ・現場の産廃等は再資源化する。
	コピー用紙の裏紙利用	○		
産業廃棄物	転用可能な資材の活用の推進	○		
	中間処理施設の利用徹底	○		

3. 水使用量削減

活動項目	実施状況 1月～12月	1年間の評価	次年度の計画
こまめな節水	○	・節水に努めた。 ・電気使用量の評価と同様にコンテナハウス設置により、使用量は増加している。	・今後も事務所、現場ともに節水に努め、使用時は常に蛇口の5割開栓を心掛ける。
節水ラベルの貼付け	○		

4. ｸﾞﾘｰﾝ購入の推進（事務用品）

活動項目	実施状況 1月～12月	1年間の評価	次年度の計画
グリーン購入の推進	○	・アスクルのエコ商品等の利用をしている	

５．省資源・省エネ型設計・施工の提案

活動項目	実施状況 1月～12月	1年間の評価	次年度の計画
省資源・省エネ型設計・施工の提案	○	・工事現場の提案は出来ている。	

セコム
火災報知器の煙感知器・熱感知器の点検

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動、関する環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	マニフェストの交付・回収・保管の適正処理	適正
建設リサイクル法	一定規模以上の建築4品目の分別解体と再資源化	適合
建設業法	建設業許可	適正
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守	適正
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守	適正
浄化槽法	浄化槽の管理、保守点検、法定点検の実施	適正
フロン排出抑制法	簡易定期点検の実施	適正

令和5年3月に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの苦情もありませんでした。

服巻建設㈱

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

1）評　価

① 社内では環境に配慮した分別がきちんとなされている。
② 現場では廃棄物等管理も徹底され、倉庫内の整理・整頓によるリサイクル資材の管理ができている。
③ 今期から会社敷地内のコンテナハウス設置により、動力・水道使用量の増加が発生しているが、社内的には社員の日頃の意識向上により節電・節水は出来ている。

2）見直し（変更の必要性と指示）

・必要なものと無駄なものの判断をしっかり見極めること。
・環境経営目標の2021年度基準値の動力と水使用量を今期の2023年度実績を基準値として、来期の状況を見ていく。
・昨今、全国地域で脱炭素化（カーボンニュートラル）が推進されているが、当社内でも太陽光発電により（カーボンニュートラルマイナス)をあげ、環境の保全と汚染防止に環境経営方針通りに貢献していく。

＊民間住宅施工では屋根置の自家消費型 太陽光発電設置等の推奨。

＊法令に従い省エネ断熱住宅施工を行う。

3）環境方針、環境目標、環境活動計画及び実施体制は変更せずに、このまま継続する。

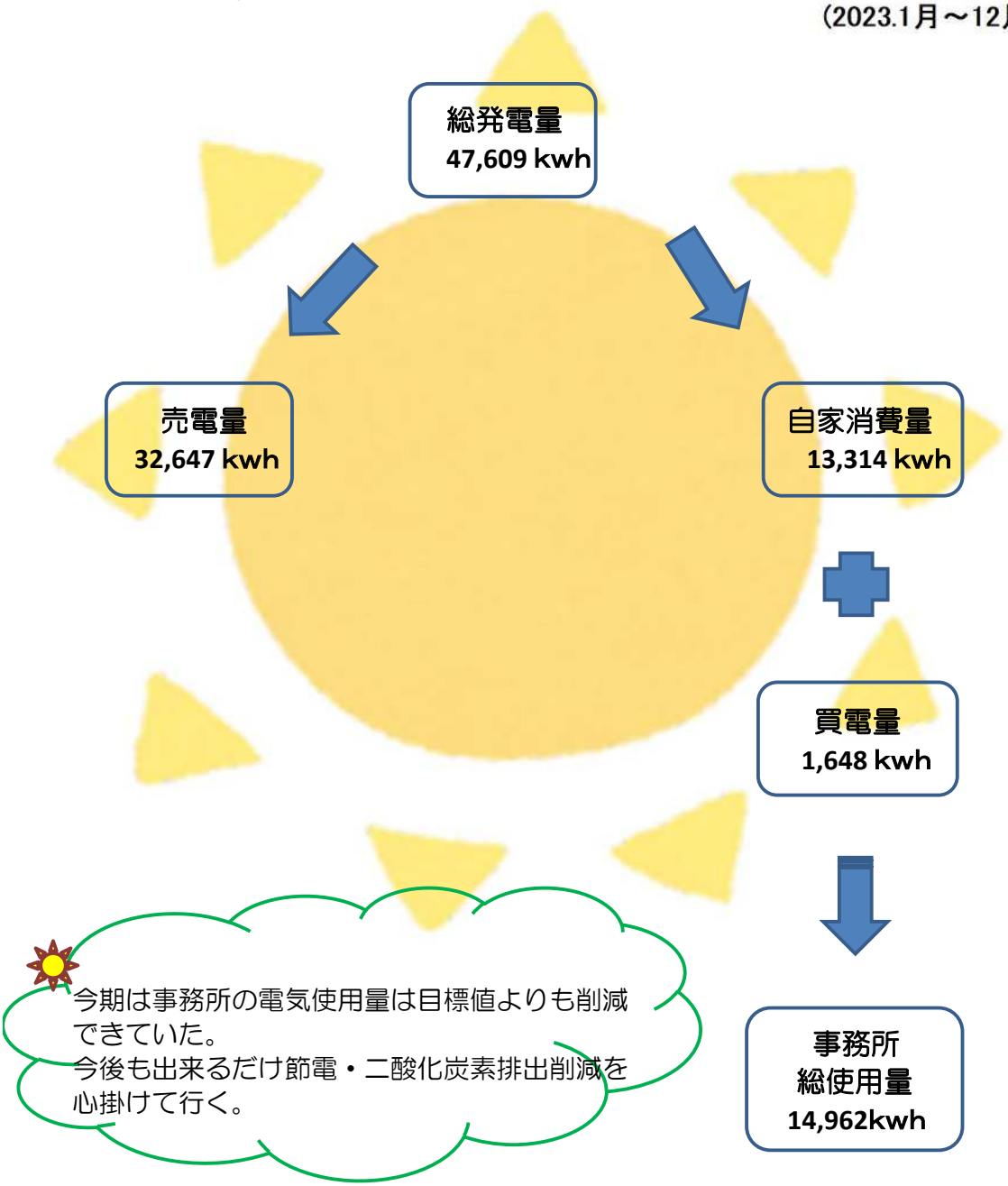
☆　環境負荷項目		☆　取組活動
二酸化炭素排出量削減	⟷	・省エネルギーに努める
廃棄物排出量削減	⟷	・廃棄物の削減･リサイクルに努める
水使用量削減	⟷	・無駄な水使用を無くす。節水に努める

服巻建設㈱

代表取締役　松尾　裕之

①弊社の太陽光発電

（2023.1月～12月）



※太陽光発電システムの活用

① 地球温暖化の原因は、二酸化炭素が要因。

② 持続可能な電気を創って使うことで地球を守ることや自宅の電気代削減、災害対策に繋がっていくと思う。

③ 太陽光発電を設置して再生可能エネルギーを作り、二酸化炭素の排出量削減の効果に貢献していく事も大切。

＊売電によるCO2削減
2023年度は、太陽光発電での売電で　32,647kwh×0.389＝**12,700kg≒12.7t**
（0.389kg-CO2/kwhは2021年度九州電力調整後）を使用
のマイナスカーボン排出量となり、環境保全に寄与している。

② 弊社のSDGsへの取り組み

さが子育て応援宣言企業
「子育て応援宣言事業所」登録証

子育て応援宣言
・子や孫を持つ社員への学校行事・PTA活動等の積極的な参加を奨励します。
・育児休暇制度を社員に周知し、育児休業や看護休暇を取得しやすい環境を整備します。
・社員の家族参加型のイベントを年1回以上、開催します。

佐賀県は、子育てと仕事の両立ができる環境づくりを進めています

※ 持続可能な開発目標として掲げられているSDGs。
「誰もが誰かのために、共に生きる社会」を思い、当社でも社員一同にて少しでも社会に貢献できるよう関わります。

・地域の子供たちへのスポーツ指導を行っている。
・社内では毎年健康診断を行い、保健指導等を行っている。

・当社設置の太陽光発電によるエネルギーの供給に貢献している。
・民間住宅への自家消費型太陽光発電の推奨を行っている。
・環境負荷の低減の為、現場で使用する機械は環境に配慮した機種を選定している。
・事務所、現場においても再利用可能なものはリサイクル率向上に努めている。

・清掃活動など地域ボランティア活動に参加をしている。
・建設業を通じて、人々の安心・安全な暮らしに少しでも貢献出来るように関わって行きます。

弊社の防火・防犯システムの構造及び点検

服巻建設 株式会社

管理会社：セコム　株式会社　（電）0952-65-2240
（24 時間 年中対応）

1. 火災報知器（全て通常電源）

⑴ 煙感知器の作動

感知器の周辺に一定濃度の煙、蒸気、埃等が充満すると、感知器が異常を感知し、監視盤から異常を知らせる大きな警報音を発する。

⑵ 熱感知器の作動

感知器の周辺が 75℃以上の空気に触れると感知器が火災と判断し、監視盤から即刻警報音を発する。

※ いずれの場合も、監視盤はセコム本体と常時連動しており、異常サインが発せられたら即セコムが適切な対応策を講じる。

（現場直行及び消防署・関係先への通報等）

2. 防犯感知器の作動

夜間警備に切り替え中は、おおむね 10m以内に人が近づくと感知器が作動し、監視盤からの警報音とセコムへの送信が成され、セコムが適切に対応する。（現場直行及び警察署・関係先への通報等）